

第一回 HEST フォーラム 新聞記事

毎日新聞

日刊工業新聞

平成10年10月25日

1998年(平成10年)10月23日 金曜日

教育・科学で日英交流

グレート・マン チェスタークラブ あすフォーラム

グレート・マン・マンチェスタークラブ(松本洋会長)は二十四日午後二時から神戸市灘区六甲台町の滝川記念学術交流会館で「高度教育・科学技術フォーラム(H.E.S.T.)98」(福田秀樹実行委員長、神戸大学教授)を開く。M・ハリス・マンチェスター大学学長の「北西部大学と日本の間の新しい共同研究の広がり」をはじめ、日英の学者、産業人らが今後の日英の産学協同のあり方などについて講演する。

同クラブは、英国マンチェスターにゆかりのある日本人が組織する友好団体で、講演の後、レセプション、懇話会、夕食会などがある。問い合わせは福田教授(078-8003-1164、FAX078-8003-1171)へ。

「英国型産学協同モデル」など。

問合わせは福田教授(078-8003-1164、FAX078-8003-1171)へ。

日英の共同研究探る

大学、企業など 科学技術会議

神戸大

関西とイギリス北西部の大学や研究機関、企業の交流を深める第一回「科学技術高等教育(H.E.S.T.)会

議」が24日、神戸市灘区の神戸大学滝川記念学術交流会館であり、共同研究や技術開発の可能性について討

神戸新聞 平成10年10月25日

論じた。

日本側は神戸大学や英国内に生産拠点を持つ家電メーカーなど、英国側はマンチェスター大学やランカスター大学などから計100人が出席。各大学の教育システム、産学協同の現状や研究開発の成果などについて報告し、今後の交流の中で具体的に取り組む可能性のある分野について意見を交わした。

産学連携策を討議

神大で日英フォーラム

英国北西部地域の科学技術高等教育会議(H.E.S.T.)と日本の大学、企業関係者が、日英両国の産学連携のあり方について討議する初のH.E.S.T.フォーラムが二十四日、神戸市灘区の神戸大学滝川記念学術交流会館で開かれた。

マンチェスター大学など英国北西部での留学経験者でつくるグレート・マンチェスター・クラブ(会長・松本洋国際文化会館専務理事)の主催。英国側からは同大学のマーチン・ハリクス学長ら八大学の十七人、日本側からは約百人が出席した。

フォーラムでは、神大の片岡邦夫副学長が日本の科

同会議は、神戸大や同志社大で研究した経験を持つマンチェスター日本研究所のジェフリー・ブロード所長が中心となって進めている交流プロジェクトの一環。22、23日には経済分野での交流を話し合う「大阪—マンチェスター・フォーラム」が大阪市内で開かれた。【藤田 幸司】

1998年(平成10年)11月4日 水曜日



交流の可能性を話し合ったH.E.S.T.会議—神戸大学で

日英新時代に期待



▽：英国マンチェスター大学にある日本研究所の移転に際して、マンチェスター大学滞在経験者の集いであるマンチェスタークラブが、このほど来日した日本研究所長のJ・ブロードさん(写真)

▽：贈呈式を準備した神戸大学教授の福田秀樹さんは「英国と日本の大学の交流は百年以上の歴史を持ち大変伝統がある。これを機会に研究交流も盛んになってくれればありがたい」と期待を語る。

▽：マンチェスタークラブ会長の松本洋さん(写真右)から目録を受けたブロードさん(左)は「今後の研究交流をさらに深めていきたい」と来る二十世紀、日英交流の新時代到来に目を輝かせていた。



ブロードさん(左)

ブロードさん(左)は「今後の研究交流をさらに深めていきたい」と来る二十世紀、日英交流の新時代到来に目を輝かせていた。

仮想情報ネットなど

英日産学交流呼びかけ

英国北西部の大学連合が初のミッションを日本に派遣し、英日の大学、企業間の連携強化を提案した。「高等教育、科学技術フォーラム(略称H EST)」と名づけられたミッションのM・ハリス団長(マンチェスター大学長)は「情報インフラを活用して、アングロ・日本仮想大学を検討して電子情報革命に取り組もう」と呼びかけた。

(大阪・編集委員・兼子 次生)

「日本は石油危機をチャンスに変えた。今日でも京阪奈学術研究都市をはじめ、日本の経済活力、日本人の創造性は評価できる。そこで初めて大学群として

西国経済再生の活力源、技術革新のために関係強化を図る目的で日本に来た」

「日英交流はどんな課題

マンチェスター大学

M・ハリス学長に聞く



英国の産学成果を日本と共有...

技術革新へ関係強化を

があるのですか。

「現下の経済情勢は教育

政策の変更を求めており、

UKモデルがある。我々は

英語教育をはじめ、人材訓

テム、管理システムを持っている。英国では理論と実践をうまく調和させている。もちろん企業に大切なことは脱工業化社会における知的人的資源、多技能人的資源であり、英国の産学成果を日本と共有すること

「我々はダイナミックな実験をしよう」と提案したい。例えば①西国の産学を接続する仮想情報ネットワークの確立②学部卒業生など、将来性のある若者に対して、奨学金や交換学生情報の提供強化③情報スーパーハイウェイ、仮想技術を駆使して研究成果の公開、密接な研究を開発する④新型データベース、電子図書館へのアクセスを容易にする活動の強化⑤遠隔

THE JAPAN TIMES · MONDAY, OCTOBER 26, 1998

Scholars call for U.K.-Kansai ties

KOBE — Closer cooperation in education, especially in research and development fields, between the Kansai region and Greater Manchester, England, was called for during a forum held here Saturday with the participation of team of top university scholars from northwest England.

Professor Martin Harris, vice chancellor of Manchester University, said that universities in Greater Manchester and the Kansai region should develop programs to exchange students.

Harris, leader of the visiting scholars' team to the re-

gion, also stressed the importance of establishing the links between academic researchers and commercial opportunities as universities and businesses need each other.

The 17-member delegation was on their first organized visit to the Kansai region to attend the Higher Education Science and Technology (HEST) Forum, a project that aims to develop new strategic alliances between universities in northwest England and Japan.

The project, sponsored by the Greater Manchester Center for Japanese Studies (GMCJS), also intends to es-

tablish new collaborative partnerships in high-tech sectors with Japanese universities, R&D institutes and science cities.

Geoffrey Broad, director of the GMCJS, said that Greater Manchester and Kansai has had a longtime industrial relations since the days of the so-called Iwakura Mission of 1872.

After 125 years, the first Osaka Manchester Forum was held last year in Manchester with more than 70 business people from the Kansai region in cooperation with the Osaka Chamber of Commerce and Industry.